



みみふくだより

令和7年1月7日発行
第3号

第2号のみみふくだよりでは、2学期の地域支援センターの取り組みをご紹介します。

教育相談関係

きこえやことばに関する個別相談には、福島校の関係者だけでなく、乳幼児から、地域の幼稚園や保育園、小・中学校に通うお子さんまで、幅広い年齢のお子さんと保護者さんが来校しました。2学期は、延べ94件の相談がありました。また、みみちゃん教室（乳幼児を対象とした集団での教育相談）やみみらんど in 相双（相馬支援学校の地域支援センターをお借りしてのサテライト教育相談）も開催し、好評をいただきました。今後も、特別支援学校のセンター的役割を發揮し、地域のニーズに合わせた支援の充実に努めてまいります。



みみちゃん教室の様子～親子で楽しく遊んでいます～



8月『リズムあそび』



11月『色あそび』



12月『光あそび』

出かける支援

2学期は、延べ7件の依頼があり、幼稚園や小学校、自治体などへ訪問しました。「聞こえにくさの疑似体験」や「聴覚障がいに関する研修」などそれぞれの依頼内容に合わせた相談・研修支援を行い、聴覚障がい教育についての理解・啓発を図りました。



【 出前教室「聞こえにくさ」の疑似体験 】



【 聴覚障がいに関する研修会 】

ようこそ！聴導犬！！



【 聴導犬を知ろう！ 】

12月10日（火）に愛媛大学教育
学生支援部 学生生活支援課 アクセ
シビリティ支援室 太田 琢磨先生を
お招きし、小学部児童と福島第四小学
校の児童を対象にした「聴導犬を知ろ
う！」、保護者のみなさんを対象にし
た第4回みみふく学習会「もっと知ろ
う！聴導犬！！～自分の力で新たな道
を切り開いていくために～」、地域で支

援に携わる方々を対象にした第2回みみらんどセミナー「聴覚障害児が自分らしく輝く
ために」を実施しました。

聴導犬は福島県にはおらず、全国にも53頭（2024年4月現在）しかいないそうです。学習発表会で「聴導犬」について調べて発表した小学部の子供たちは、初めて見る聴導犬に興味津々でした。聴導犬の「目を見ない」「触らない」「気を引かない」をしっかりと実践しながらお話を伺って、さらに理解を深めていきました。みみふく学習会では、聴導犬についてはもちろんのこと、セルフアドボカシーの重要性についてもお話しいたきました。参加者からは、「聴導犬ユーザーの方のお話を聞いてとてもよかったです。」「『今までよいとされていたことが最善なのか。』という言葉にはっとしました。」などという感想が寄せられました。第2回みみらんどセミナーでは、ご自身の経験を基に、子供たちが自分らしく輝くためにはどのような支援をすればいいのかをご教示いただきました。セルフアドボカシーの重要性や合理的配慮提供までのプロセス、情報保障はなぜ重要なのかなどについて学びを深めることができました。参加者からは、「障害の有無に限らず、『自分はどうか』発信できることは、社会で生きていくうえでとても重要なこと。私自身も発信する力を意識していきたい。」「本人の意思を尊重しながら、支援していくスタイルを引き続き行っていきたい。」などという感想が寄せられました。



【 第4回みみふく学習会 】



【 第2回みみらんどセミナー 】



連絡先 福島県立聴覚支援学校 福島校

地域支援センター 「みみらんど ふくしま」

TEL&FAX 024(531)5013

アドレス <https://fukushima-sd-fukushima.fcs.ed.jp>

